

N.N.REIKO 掲載記事

分野：共同活動

日付：2023.12.20

タイトル： N.N.REIKO 【農村地域づくり活動を支える、若手・女性等事務担当者の育成④】

内容・写真

酒田市吉田（よしだ）地域保全会（代表菅原明廣さん）は、多面的機能支払交付金を利用し、水路や農道の保全活動、集落の植栽活動を行っています。

保全会は活動を開始して8年目です。役員の世界交代が必要ですので、代表は若手農家の渡部仁利（まさとし、写真右）さんと遠田貴志（たかし、写真左）さんに白羽の矢を立て、県多面的機能支払推進協議会が開催する「若手・女性等事務担当者の育成研修会」に参加するよう、声をかけました。

渡部さんは39歳、水稻14ヘクタールを栽培し、サラリーマン時代に総務担当の経験があります。遠田さんも39歳、水稻8.5ヘクタールを栽培し、パソコンの使用に抵抗感がありません。

二人は研修会に参加して、交付金制度について理解を深めました。すでに同級生の池田義隆（よし たか）さんが保全会の書記を担当していますので、幼なじみの三人が保全会の事務局を担っていきます。三人は、「保全会の活動は農家と非農家の目線で対応していきたい」と考えています。



検索エンジン用キーワード（検索に引っかかるよう、検索ワードを最大5つまでご記入ください。）

多面的機能支払交付金、役員の世界交代、事務担当者の育成、若手農家、多面的機能支払推進協議会